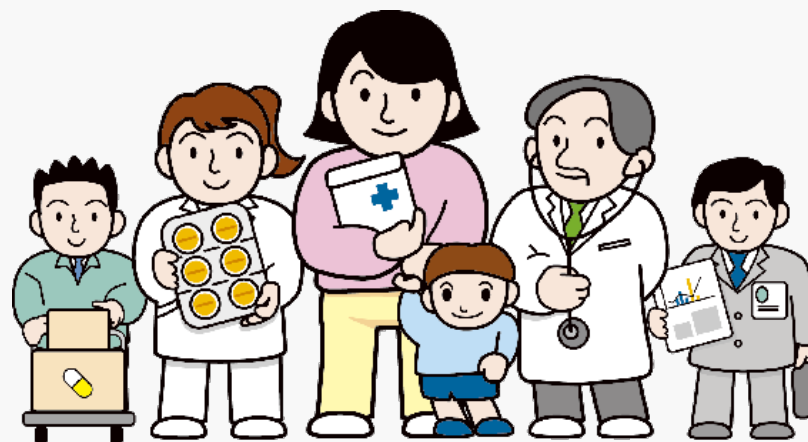


日医工MPS行政情報

http://www.nichiiko.co.jp/mps/mps_m.html

30分でわかる「疾患分類」

資料作成：日医工株式会社営業情報部（MPS事務局）



資料No.230223-217



日医工株式会社

<http://www.nichiiko.co.jp>

ICD

「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」

(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)

ICD(国際疾患分類)は、国際間の統計(死因や疾病)の基準とするために世界保健機関(WHO)によって制定されている分類です。1900年の第1回国際死因分類が始まりで、その後10年毎に見直され、また死因だけでなく疾病分類も加えられてきました。最新版の第10版は「ICD-10」として、統計以外の医療機関のマネジメント管理など世界でひろく使用されています。(ICD-10は、2007年版として改定が行なわれました。)

疾患分類は
統計上の区分として始まった

マネジメントツールとして
改定されている

包括支払方式の
分類方法の基礎になっている

ICD-10の傷病名を参考にDPC分類が検討された

DPCの疾患分類

包括支払で価格を決めるためには、疾患を分類し、データを収集、解析し、分類ごとに価格を決める必要がある。

推移 (分類数)	主要診断群分類(MDC)				包括評価対象
	疾患分類				
	診断群分類(DPC)				
	包括評価対象				
1998年11月	13		270	183	日本版DRG/PPSの試行時に設定されたもの
2001年4月	15		532	267	
2003年4月	16	575	2,552	1,860	診断群分類のうち、20例以上の調査症例があったものが「包括評価対象」となり点数が設定される
2004年4月	16	591	3,074	1,717	
2006年4月	16	516	2,347	1,440	
2008年4月	18	506	2,451	1,572	
2010年4月	18	507	2,658	1,880	
				1,875	

MDC 01 神経系疾患

010060 脳梗塞

■					

MDC02 眼科系疾患	MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	MDC04 呼吸器系疾患	MDC05 循環器系疾患	MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・脾臓疾患
MDC07 筋骨格系疾患	MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	MDC09 乳房の疾患	MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	MDC14 新生児疾患	MDC15 小児疾患	MDC16 外傷・熱傷・中毒
MDC17 精神疾患	MDC18 その他の疾患			

MDC18分類
2010年度

診断群分類点数表

厚生労働省告示第九十五号 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken12/dl/index-082.pdf>

70	010060x099001x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	なし	あり			9	22	51	2,865	2,091	1,777
71	010060x099010x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	1あり	なし			8	23	59	3,246	2,597	2,207
72	010060x099011x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	1あり	あり			20	40	86	3,060	2,261	1,922
73	010060x099020x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	2あり	なし			6	14	32	4,268	3,078	2,616
74	010060x099021x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	2あり	あり			17	33	66	3,239	2,102	1,787
75	010060x099030x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	3あり	なし			9	17	37	4,186	2,356	2,003
76	010060x099031x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	3あり	あり			15	29	59	3,779	2,129	1,810
77	010060x09904xx	脳梗塞(JCS30未満)	なし	なし	4あり				13	25	51	5,785	2,448	2,081
78	010060x09910xx	脳梗塞(JCS30未満)	なし	あり	なし				2	4	12	3,855	2,849	2,422
79	010060x09912xx	脳梗塞(JCS30未満)	なし	あり	2あり				3	8	21	5,643	4,465	3,795
80	010060x099130x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	あり	3あり	なし			10	20	39	4,595	2,610	2,219
81	010060x099131x	脳梗塞(JCS30未満)	なし	あり	3あり	あり			16	31	56	4,209	2,165	1,840
82	010060x09914xx	脳梗塞(JCS30未満)	なし	あり	4あり				13	26	51	6,044	2,540	2,159
83	010060x097x00x	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		なし	なし			8	21	55	2,563	2,023	1,720
84	010060x097x01x	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		なし	あり			19	40	89	2,520	1,894	1,610
85	010060x097x1xx	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		1あり				26	51	108	2,850	2,092	1,778
86	010060x097x2xx	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		2あり				17	36	80	3,170	2,387	2,029
87	010060x097x3xx	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		3あり				24	48	95	3,332	2,094	1,780
88	010060x097x4xx	脳梗塞(JCS30未満)	その他の手術あり		4あり				25	49	96	4,369	2,319	1,971
89	010060x002x0xx	脳梗塞(JCS30未満)	経皮的脳血管形成術等		なし				5	10	19	2,971	2,196	1,867
90	010060x002x1xx	脳梗塞(JCS30未満)	経皮的脳血管形成術等		1あり				9	17	41	3,312	2,500	2,081
91	010060x002x2xx	脳梗塞(JCS30未満)	経皮的脳血管形成術等		2あり				14	27	60	3,902	2,902	2,409

2010年度診療報酬改定で、包括評価の診断群は当初1880分類に設定されたが、その後5分類が出来高評価になり1875分類になった。

診断群分類表による算定方法（例）

脳梗塞の例 (010060x199x31x)

エダラボン使用

「脳梗塞（JCS30以上）で、手術なし、**手術・処置等2 3あり**、肺炎併発の患者」

- ・入院から16日（25パーセントイル値）まで[入院期間Ⅰ] ① 3,933点
- ・17日目から32日目（平均在院日数）まで[入院期間Ⅱ] ② 2,352点
- ・33日目から71日目（平均在院日数+2SD）まで[入院期間Ⅲ] ③ 1,999点
- ・（平均在院日数+2SD）を過ぎた72日目からは出来高算定となる

番号	診断群分類番号	傷病名	手術名	手術・処置等1	手術・処置等2	副傷病	重症度等	入院日(日)			点数(点)			
								Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	
...														
103	010060x199x30x	脳梗塞(JCS30以上)	なし		3あり	なし		6	20	52	4,744	2,919	2,481	
104	010060x199x31x	脳梗塞(JCS30以上)	なし		3あり	あり		16	32	71	3,933	2,352	1,999	
105	010060x199x4xx	脳梗塞(JCS30以上)	あり		4あり			13	26	58	6,139	2,738	2,327	
...														

- ① 入院期間Ⅰ：入院日Ⅰ以下の期間
- ② 入院期間Ⅱ：入院日Ⅰを超えて入院日Ⅱ以下の期間
- ③ 入院期間Ⅲ：入院日Ⅱを超えて入院日Ⅲ以下の期間

診断群分類の決定

①傷病名の決定

①傷病名の決定

入院期間を通じて治療の対象となった傷病のうち、**医療資源を最も投入した**傷病名をICD-10*1に規定されている傷病名により決定

*1疾病及び関連保健問題の国際統計分類
第10回修正

世界保健機関(WHO)が死因や疾病の国際的な統計基準として公表した分類。

②診断群分類の決定

②診断群分類の決定

①で決定した傷病名が分類されている疾患分類(6桁分類)を定義テーブルで検索し、医療行為や副傷病等により一つの診断群分類を決定

全診断群分類が示されている「ツリー図」とその分岐を定義している「定義テーブル」を活用し、診断群分類を決定

診断群分類には包括評価の対象となるものとならないものがあり、ツリー図で確認できる。

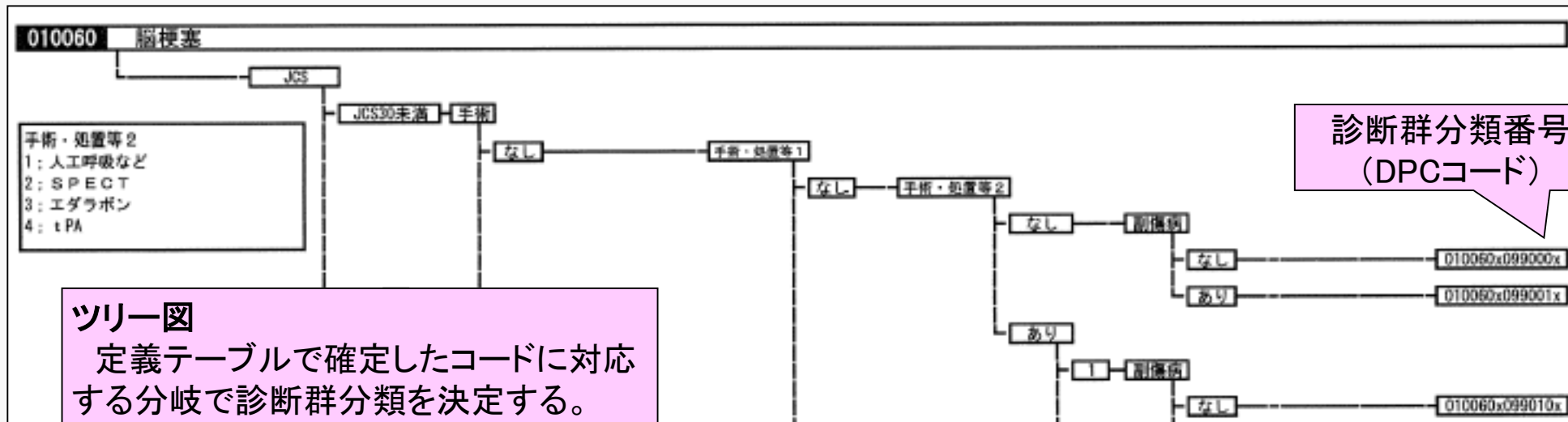
2010年度版のツリー図と定義テーブルは厚生労働省HPからダウンロードできる
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken12/dl/index-086.pdf>

定義テーブル&ツリー図

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1			手術・処置等2			副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	フラグ	重症度等		
01	0060	脳梗塞	一過性脳虚血発作および関連症候群	G45\$	0	0	JCS30未満	手術なし	99	99	手術なし		1	1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	E0033	4	9	tPA		1	1	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	040080	0	リハビリなし		
			脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	G46\$	1	1	JCS30以上	その他の手術あり	97	97		その他のKコード							3	8	エダラボン		1	1	腎臓または尿路の感染症	110310	1	リハビリあり
			脳梗塞	I63\$				経皮的脳血管形成術等	02	01	経皮的脳血管形成術	K178-2							2	4	SPECT	E101	1	1	敗血症	180010		
			脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I65\$				脳血管内手術	02	01	脳血管内手術	K178\$							1	3	人工腎臓 其他の場合	J0382	1	2	えんく嚙>下降害	R13		
			脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I66\$				経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術	02	01	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3\$							1	2	中心静脈注射	G005						
			もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	I675				経皮的頭動脈ステント留置術	02	01	経皮的頭動脈ステント留置術	K609-2							1	1	人工呼吸	J045\$						
			脳血管疾患、詳細不明	I679				動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈等	01	02	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	K6101																
			脳梗塞の続発・後遺症	I693				動脈血栓内摘出術	01	03	動脈血栓内摘出術	K609\$																
			循環器系その他の処置後障害、他に分類されないもの	I978				減圧開頭術 其他の場合	01	04	減圧開頭術 其他の場合	K1492																
								頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	01	04	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	K1643																

定義テーブル

最も医療資源を投入した疾病のICD10コードに対応する疾患分類(6桁分類)や、実施した手術や処置などのDPC対応コードなどを定義する。



診断群分類番号 (DPCコード)

ツリー図
 定義テーブルで確定したコードに対応する分岐で診断群分類を決定する。

ツリー図から読めること

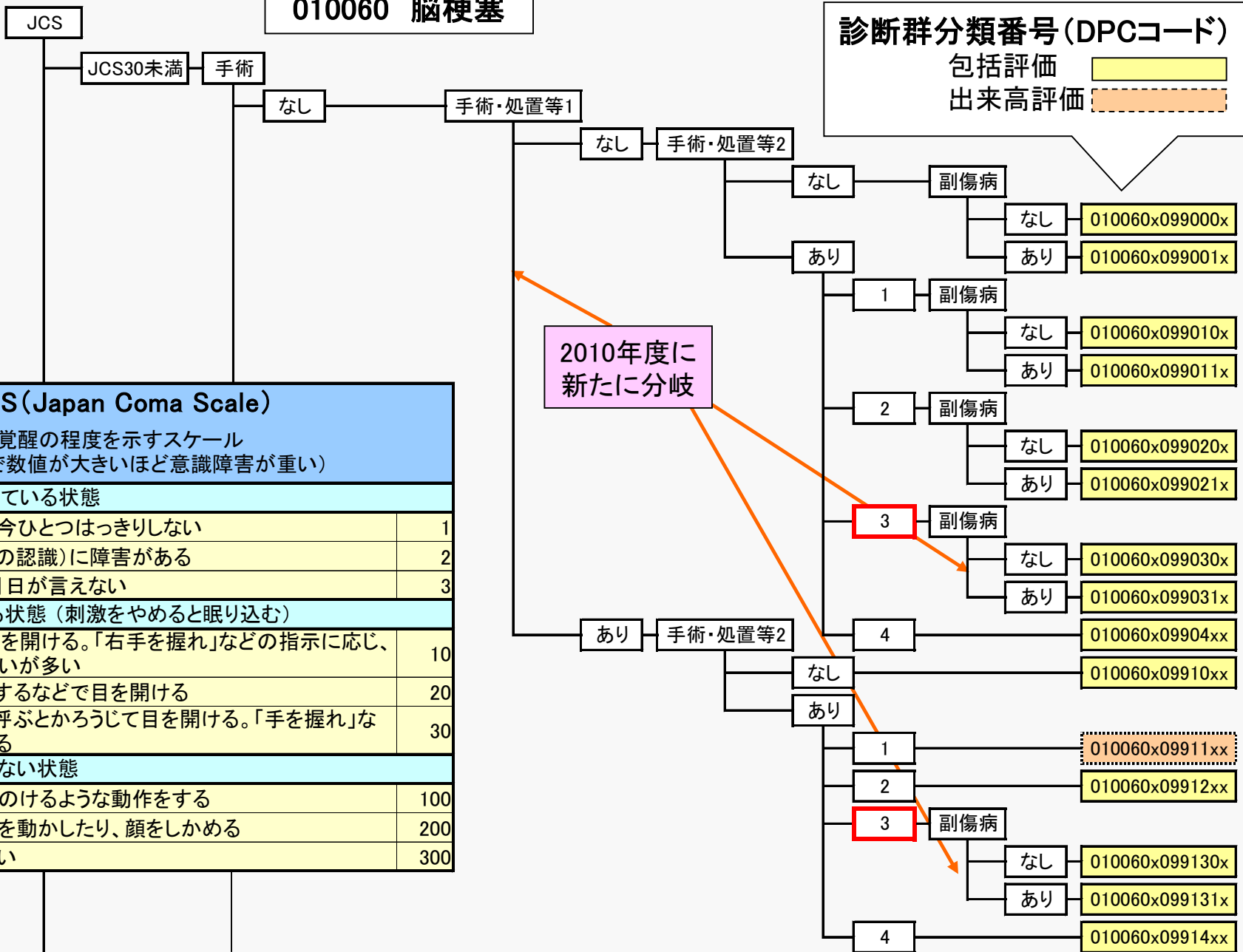
[010060 脳梗塞]

- ・エダラボンを使用した診断群分類(DPC)は、包括評価となる。
- ・包括対象となる診断群分類の入院期間(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)や各期間における1日当たり点数は各病院からのデータ(包括部分にかかったコスト)をもとに診療報酬改定時に設定(見直し)されている。
- ・脳梗塞(010060)においては、2010年度改定で、手術・処置等1や副傷病による分岐の見直しによりエダラボンに関連するコード数が9から13に増えた。

2008年度	2010年度	
010060x099x3xx	010060x099030x	※コード変更があったもののみ記載 手術処置等1、副傷病による分岐の追加
	010060x099031x	
	010060x099130x	
	010060x099131x	
010060x002x30x	010060x002x3xx	コードの統合
010060x002x31x		
010060x001x3xx	010060x001x30x	副傷病による分岐の追加
	010060x001x31x	
010060x199x3xx	010060x199x30x	
	010060x199x31x	

- ・選択肢が2項目以上(例えばt-PAとエダラボンの併用)あり、複数該当する場合は、ツリー図において下段の方を選択することになり、より高い点数になるが、単純に2項目分の合算にはなっていないこともあるため、持ち出しになる可能性がある。
- ・エダラボンなど新たに発売されたジェネリックに多くの病院が切り替えると、次回改定で診断群分類の点数が、ジェネリック使用のデータの影響を受けて下がるため、先発品使用が続いていると、経営的に厳しくなる可能性がある。

010060 脳梗塞



診断群分類番号 (DPCコード)
 包括評価
 出来高評価

JCS (Japan Coma Scale)

覚醒の程度を示すスケール
 (10段階で数値が大きいほど意識障害が重い)

I. 刺激しないで覚醒している状態

ほぼ意識清明だが、今ひとつはっきりしない	1
見当識(時・場所・人の認識)に障害がある	2
自分の名前や生年月日が言えない	3

II. 刺激すると覚醒する状態 (刺激をやめると眠り込む)

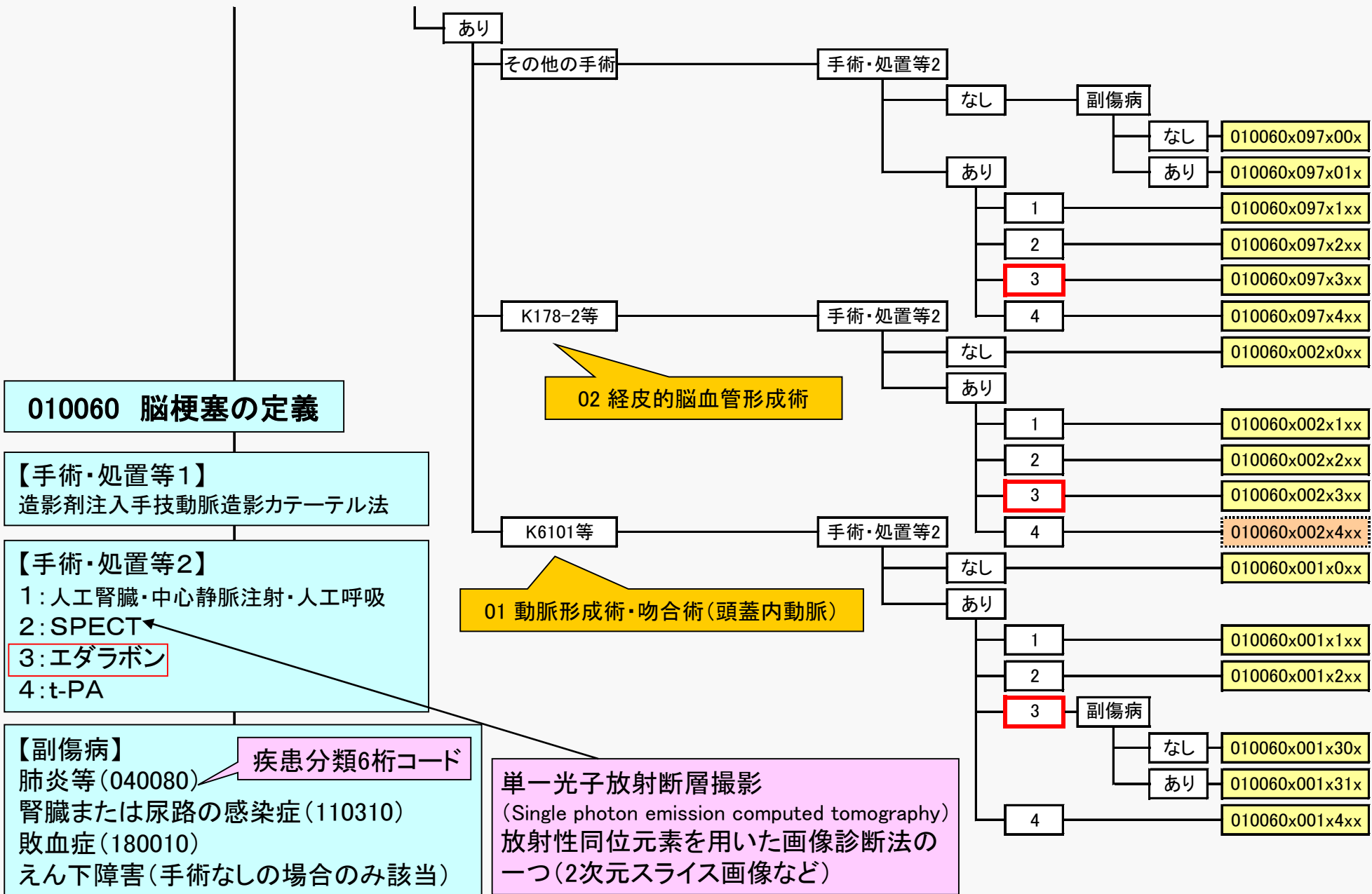
普通の呼びかけで目を開ける。「右手を握れ」などの指示に応じ、言葉も話せるが間違いが多い	10
大声で呼ぶ、体を揺するなど目を開ける	20
痛み刺激をしながら呼ぶとかわらうじて目を開ける。「手を握れ」など簡単な指示に応じる	30

III. 刺激をしても覚醒しない状態

痛み刺激に対し払いのけるような動作をする	100
痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる	200
痛み刺激に反応しない	300

2010年度に新たに分岐

010060x09911xx



010060 脳梗塞の定義

【手術・処置等1】
造影剤注入手技動脈造影カテーテル法

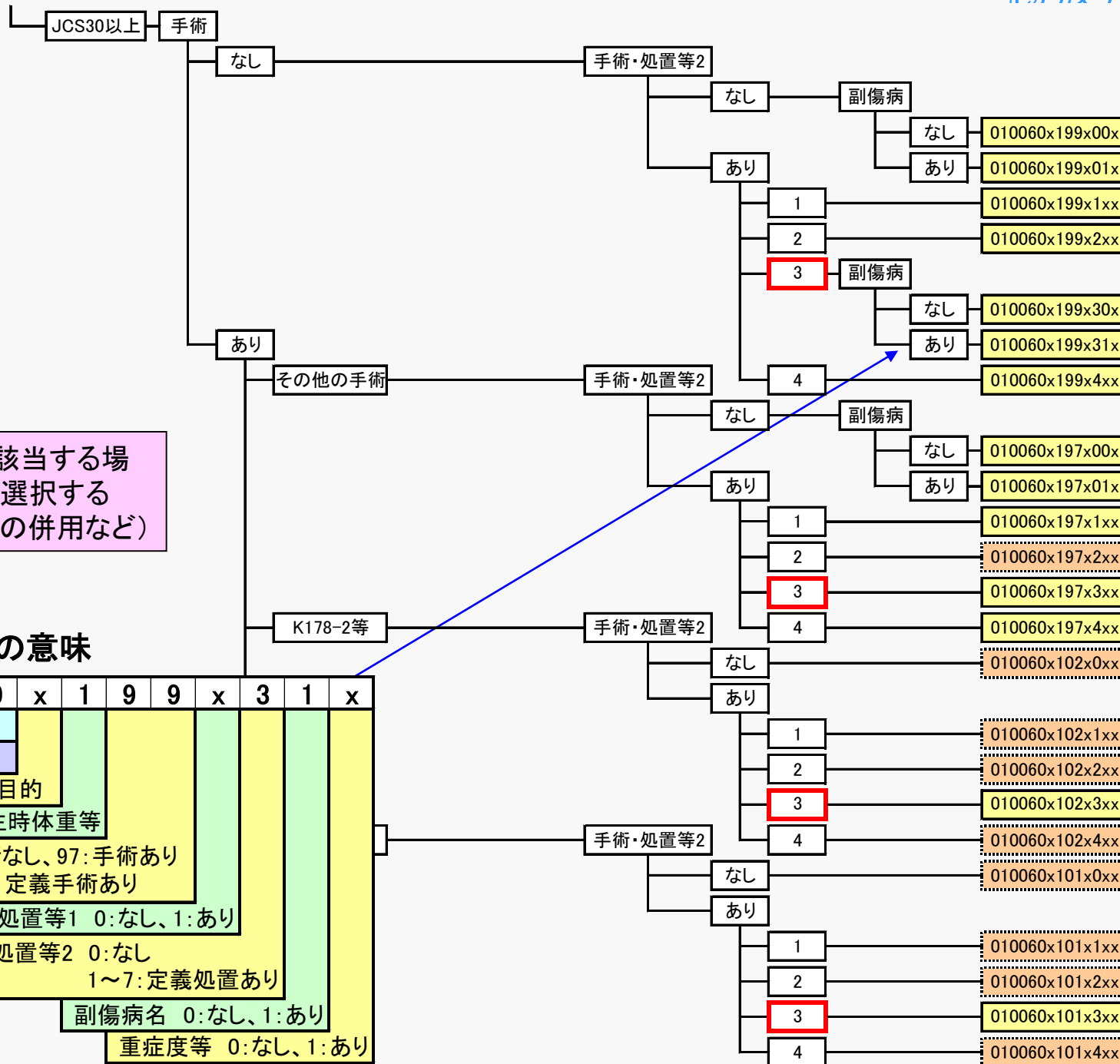
【手術・処置等2】
1:人工腎臓・中心静脈注射・人工呼吸
2: SPECT
3: エダラボン
4: t-PA

【副傷病】
疾患分類6桁コード
肺炎等(040080)
腎臓または尿路の感染症(110310)
敗血症(180010)
えん下障害(手術なしの場合のみ該当)

02 経皮的脳血管形成術

01 動脈形成術・吻合術(頭蓋内動脈)

単一光子放射断層撮影
(Single photon emission computed tomography)
放射性同位元素を用いた画像診断法の一つ(2次元スライス画像など)



選択肢で2つ以上該当する場合は下段の項目を選択する
(t-PAとエダラボンの併用など)

診断群分類番号の意味

0	1	0	0	6	0	x	1	9	9	x	3	1	x
MDC		傷病名											
疾患分類											入院目的		
年齢・出生時体重等											手術(2桁) 99:手術なし、97:手術あり 01~05:定義手術あり		
手術・処置等1 0:なし、1:あり											手術・処置等2 0:なし 1~7:定義処置あり		
副傷病名 0:なし、1:あり											重症度等 0:なし、1:あり		